STAFF 桝徳

Stream Trend Attention Focus Future

MASUTOKU.Inc

工務店様へ毎月お届け　桝徳「コミュニケーション情報誌」　VoL 220

Presented by Masutoku　2026.11

変わる災害にどう対応する？

水害・地震の最新防災情報をご紹介



地震や豪雨などの自然災害が相次ぐなか、住まいの防災に求められる備えも変わりつつあります。水害では、ハザードマップで自宅周辺のリスクを確認し、早めの避難につなげることが重要に。一方、地震対策では住宅の耐震化に加え、地震後の火災や在宅避難を見据えた備えも重視されています。では、これからの住まいには、どのような防災対策が必要なのでしょうか。

今回は、水害・地震に関する最新の動きを整理しながら、住まいを守るために知っておきたい対策と、提案に活用できる防災商材をご紹介します。

「桝徳スタッフ図鑑」　VoL 08

桝徳スタッフを毎号1人ずつご紹介！当社は、時代に合った暮らしを、地域企業のみなさまと共に創り出すことを使命と考えております。みなさまと一緒に暮らしを創る一員として、わたしたちのことを少しでも知っていただけたら幸いです。



ソリューションチーム
松﨑　恵美子

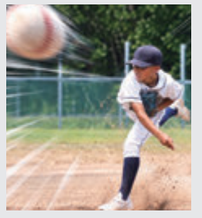
子どもの頃の夢　理由は忘れましたが『ケーキ屋さん』です。そして今、娘もケーキ屋さんになりたい！と言っています。

ちょっとだけ得意なこと　多分どこでもすぐ寝られること。嫌なことも寝て忘れます。

地域のおすすめ公園　森林公園がおすすめです！！

春は花畑、夏は水遊び、秋はハロウィンイベント、冬はクリスマスイルミネーションと、色々なイベントが開催されていたり、植物や虫などで四季を感じられます。家にいるとゲームやテレビなどデジタルなものと離れられない子どもたちですが、よく歩いてよく遊んで、たくさん体を動かすことができるのでおすすめです。

最近のベストショット



休日は子どもたちのスポ少の応援で終わります……。息子は野球、娘はミニバス。時間をやりくりし、それぞれの応援に行きます！朝早くから夕方まで練習や試合を支える母として忙しい休日ですが、我が子のみならず、チームの子たちが成長していく姿を見られることは嬉しいです。我が子の所属チーム箱推しです♡

写真はよりカッコよくするために加工しました！

桝徳は創業明治38年、木と共に1世紀

■ビジョン　今も未来も、笑顔になる暮らしを実現します

■ミッション　顔の見えるつくり手と共に時代に合った暮らしを創造します

■バリュー　誠実・責任・向上心



■会社名の由来
創業者初代星野徳次郎が浦和にあった桝屋という材木商で修行した後、大宮で店を出すにあたって、修行した店の屋号と本名の一字を合わせて「桝徳」としたものです。

株式会社 桝徳

www.masutoku.jp

■本　社
〒330-0804　埼玉県さいたま市大宮区堀の内町1-697
TEL：048（658）5600　FAX：048（658）5605
e-mail:info@masutoku.jp

■伊奈配送センター
〒362-0811　埼玉県北足立郡伊奈町西小針6-127
TEL：048（729）2000　FAX：048（729）2001

特集

変わる災害にどう対応する？ 水害・地震の最新防災情報をご紹介

頻発する災害により、防災意識も変化

近年、大規模な地震や豪雨などの自然災害が相次ぎ、私たちの防災意識にも変化が見られます。国土交通省の調査では、自然災害への対策を「何もしていない」と答えた人は、10年前の52.0％から39.5％に減少。一方、「ハザードマップや避難所・経路の確認」は20.0％から37.9％に、「食料・水などの備蓄や非常持ち出しバッグの準備」は22.8％から35.8％に増えています。日頃から自分で情報を確認し、備える意識が広がっていることがわかります。

災害に合わせた備え

では、どのような備えをすることが適しているのでしょうか。水害対策、地震対策について最新の情報を交えご紹介します。

水害への備え

事前の対策と適切なタイミングの避難が大切

水害は、時間と共に対処法が変わる進行型の災害です。リスクを確認してあらかじめ対策をすることが大切です。

【事前にできる対策】
- ハザードマップで自宅周辺のリスクを確認する
- 避難場所と安全な避難経路を家族で共有する
- 非常用持ち出し袋と備蓄品を準備・点検する
- 側溝や雨どいを掃除する
- 水のうを準備して設置方法を知る
- 火災保険の水災補償の内容を確認する

【警戒レベルを理解して、適切に避難をする】
- レベル❶ 災害への心構えを高める
- レベル❷ 自らの避難行動を確認
- レベル❸ 高齢者等は危険な場所から避難する
- レベル❹ 危険な場所から全員避難
- レベル❺ 命の危険が迫っているため直ちに身の安全を確保

地震への備え

「耐震」だけでなく「火災対策」も

2026年6月、「首都直下地震緊急対策推進基本計画」（以下「基本計画」）が改定され、住宅の耐震化に加えて、地震火災への対策も重要施策に。東日本大震災では、原因が特定された火災の過半数が電気関係だったことから、電気火災を防ぐ「感震ブレーカー」の普及が進められています。

【住宅面で改定された3つのキーワード】
1. 住宅の耐震化…人的・物的被害への対応強化
2. 「在宅避難」の促進を明記…避難所不足への対応策
3. 火災対策のさらなる重視…感震ブレーカーを緊急対策区域（都県）において2035年度までに「おおむね」設置に。

災害対策としてできること

ここまで水害、地震対策についてご紹介しましたが、災害には事前に備えることが大切だということが分かります。では、どのように備えればよいのか――。中段・下段では、桝徳がおすすめする防災対策ができる商材と共にご紹介します。新築やリフォームをお考えのお施主様にぜひご提案ください。

水害対策

住まいへの浸水にも備えを

鈴木シャッター

浸水から住まいを守る 脱着式防水板オクダケ



ゲリラ豪雨や大雨など、住宅の浸水などが心配になる場合は土嚢などで対策することができます。しかし土嚢は設置に時間がかかり、廃棄するにも手間がかかってしまいます。今回ご紹介する鈴木シャッターの「オクダケ」は、レールにパネルを通すだけで簡単に設置でき、高い防水性を発揮。コンパクトなので収納にも便利です。

▼オクダケ▼

【オクダケの特徴】

1 軽い！
パネル1枚 約6kg！
3分割構造のアルミ製パネルだから、軽量。取り扱いもラクラク

2 速い！簡単！
約1分でセット完了！
3枚のパネルを置くだけだからスピーディーに設置

3 高い防水性
土のうの100倍以上！
当社独自の防水ゴムとパネル構造でしっかり防水

4 コンパクト
持ち運びラクラク！
パネルを重ねて、専用バッグにコンパクトに収納



実は、地震対策としても大切です

地震直後や復旧期に線状降水帯や大型台風が襲来した場合、複合災害が起こることになります。震災時に安全に自宅避難するためにも、自宅の浸水対策は大切な備えです。

※出典：株式会社鈴木シャッター

地震対策

地震火災への備えを

電気火災を防ぐ 感震ブレーカー

Panasonic

備え1

感震ブレーカーってなに？



▼感震ブレーカー▼

【仕組み】
① 住宅分電盤に取り付け
② 震度5強以上の地震発生↓ 主幹漏電ブレーカーを自動でOFF
③ 地震後の電気が復旧時に起こる「通電火災」を防ぎます。



【なぜ必要？】
- 東日本大震災で発生した火災のうち、発生原因がわかっているものの**54**％は電気関係
- 感震ブレーカーの普及率が100％になれば、焼失棟数が約**7割**減少するという試算も
- 埼玉県での設置率**14.5**％↓基本計画では、2035年度までに「**おおむね設置**」へ

※出典：パナソニック株式会社

備え2

新コスモス電機

火災を知らせる プラシオ

一酸化炭素検知付き 火災報知器

▼プラシオ▼

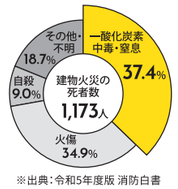
プラシオってなに？

【仕組み】
- 石膏ボードピンで固定するだけで設置
- 煙＋一酸化炭素を素早く検知
↓
- 初期消火＋避難時間の確保を可能に
- 自宅避難中の住宅火災・一酸化炭素中毒事故の低減に



【なぜ必要？】

建物火災での死因1位は、**一酸化炭素中毒**。無味無臭で気付きにくく、吸引量がわずかでも死に至ります。「気付く対策」をすることが大切です。



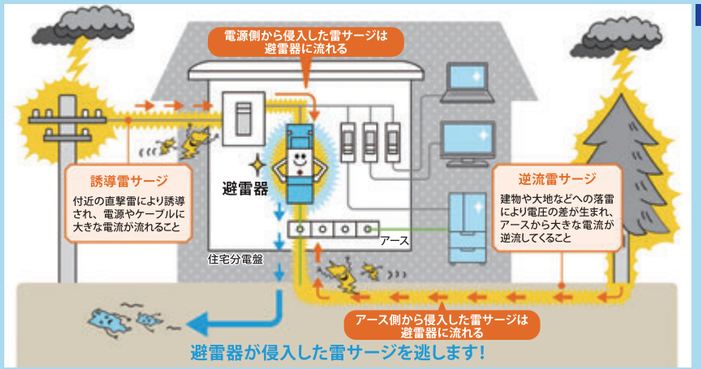
※出典：令和5年度版 消防白書

※出典：新コスモス電機株式会社

+αの備えなら

Panasonic

雷ランキング全国NO1 埼玉県※1 落雷から電気設備を守る かみなりあんしんばん





突然の落雷によって発生する「雷サージ」。電線などを通って建物内に侵入すると、家電や電気設備の故障につながることがあります。「かみなりあんしんばん」は、搭載された避雷器によって雷サージによる被害を軽減します。

埼玉県は落雷の多い地域だからこそ、住まいの防災力を高める＋αの提案として雷対策を取り入れてみてはいかがでしょうか。

▼かみなりあんしんばん▼

▼避雷器▼

※1 株式会社フランクリン・ジャパン　雷統計データ(2025年)単位面積(1平方キロメートル)あたりの落雷数ランキング

※出典：パナソニック株式会社

今月の木になる通信

木を喰べてみませんか？

建築物や家具、楽器等に使われている木材ですが、実は食べ物としても販売されています。

「スーパーウッドパウダー」は、天龍杉のおがくずを処理し、食べられるようにしたもの。パウダーには整腸、リラックス効果があるといわれています。

パウダーをそのまま食べるのではなく、うどんや焼き菓子などの生地に10％程度混ぜるのが推奨されている食べ方です。ほかにも、おがくずから作られたお茶などがあります。

日常生活の中に、「木を食べる」という新しい関わり方を取り入れてみませんか？

（奥本　雄太）

ご紹介した商材や、防災対策など、お気軽に桝徳までご相談ください。

▼桝徳▼
問合せ